

2015 年ヴィンテージはとても温暖でした。夏は乾燥しており、38 度（華氏 100 度）に近い、または 38 度を超える天候が何週間も続きました。温暖な気候は 7 月いっぱい続きましたが、8 月には 32 度を超える程の気温になりました。8 月末になると夜の気温が下がり、成熟スピードが少し遅くなりました。9 月は温暖でしたが、過度に暑くもなく夜間が涼しかったのでこれによりさらに成熟スピードが遅くなりました。それでも初夏の暑さのおかげで、収穫は早いうちに始まりました。収穫時には雨はほとんど降らず、例年よりも容易な収穫期でした。全体的に 2015 年ヴィンテージは果実味とミネラルの素晴らしい純粋さを示しています。フィネスを保ちつつも力強いストラクチャーと凝縮度を持ちます。非常に豊かで表情のあるワインです。暑いヴィンテージでしたが、ワインはバランスを保ち、素晴らしい品種の個性と洗練されたタンニンを示しています。

2016 年はワシントン州全体の温暖な生育期の傾向を維持し早いスタートが特徴的でした。5 月末までに 2016 年は記録上もっとも温暖なヴィンテージとして 2015 年を上回るペースで進んでいました。しかし驚いたことに 6 月からは気温は平年並みに戻りました。夏の間、そして 7 月と 8 月にかけては、穏やかな気温が続きました。ワインはバランスが取れ、素晴らしい緊張感とフィネスを備えています。ミネラルと純粋さの素晴らしい芯が感じられます。2016 年ヴィンテージはタンニンが豊かで、持続性があり熟成能力の高いワインです。

2017 年の春は、6 月初旬までずっと平均より涼しい気温と平均より高い降水量で始まりました。しかし 7 月と 8 月には状況が一転し、その間は非常に暑い天候が続きました。幸運なことに 9 月にはかなり涼しくなり、日中は温かく、夜は涼しく、成熟に適した気候となりあした。果実は問題なく良いペースで成熟しました。激しい暑さや雨に見舞われることなく、収穫をすることができています。2017 年のワインは凝縮身がありフルボディで素晴らしい力強さがあります。長くそうに層になって重なり合うタンニンがあり、安定したフィニッシュへとつながっています。すべてのワインがこの素晴らしいヴィンテージのミネラルを表現しており、香ばしさと塩味、そして果実の素晴らしいコアを備えています。これらの特徴はすべてこのヴィンテージが非常に高い品質であることを示しています。

2018年は涼しいながらも穏やかな春で、気温は安定し降水量も十分でした。6月は熱波もなく温和な気候でした。7月は涼しく穏やかな気候ではじまり、その後35-38度を記録する日が多く、暖かくなりました。晩夏に涼しい日が続き、熟成に最適な条件が整い、秋にはさらに涼しい日が続き成熟に最適な条件が整いました。ワインはリッチで骨格があり複雑です。ミネラルが果実味と層を成し、緻密なストラクチャーを構成しています。凝縮したフレーバーで色も濃く、タンニンが際立ち一貫性を持っています。私達はワインのバランスを保つために努力し、それにより生き生きとした口当たりを維持する事が出来ました。

2019年

全体的に平年より涼しく、久しぶりの雨の多い収穫となりました。ヴェレーゾンが遅かったため、全体的に糖分の蓄積量は少なめで素晴らしい酸味を持っています。最近のヴィンテージと比較すると、2019年は穏やかな気候でした。急激な暑さや38度以上の気温が長く続く事はありませんでした。収穫期には、昼夜ともに異常に涼しかったため、酸のレベルが少し上がり、ワインは非常にバランスが取れています。2019年はエレガントで非常に明るい特徴を示しています。香りはスパイシーな果実味に溢れ、多くのスパイスの特徴が重なり合っています。みずみずしく、美味しく、とてもフレッシュです。昼夜の冷え込みが、果実の美しい中核を引き出してくれました。涼しいヴィンテージで素晴らしいワインを造るには多くの作業が必要ですが、2019年は栽培がすべての違いを生み出しました。これらの理由から、2019年ヴィンテージのワインは、バランスの取れたアルコールと豊かなタンニンを持つ素晴らしいフード・フレンドリーなワインとなりました。